

村だよい

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

dewashonai



写真提供 / 有 鶴岡タイムス社

出羽庄内国際村音楽祭「フォリダ・パルピーンコンサート」



特集

出羽庄内国際村音楽祭 / 国際理解教育に向けて

国際交流団体紹介 日本ハンガリー友好協会山形県支部、 羽黒町日中友好協会

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 30

Quarterly



アマゾン民族館

開館時間 9:00 ~ 17:00

毎週土曜日は、小・中学生入館無料!

『世界の民族衣装展』好評開催中

あき かぜ 秋風 によつて 夜に 響く 音色の 輝き

We made this festival a big success!

2002.出羽庄内国際村音楽祭

8月27日に、出羽庄内国際村で音楽祭が行われました。この音楽祭は、いろいろな国や地域の民族音楽を紹介しようと毎年開催しています。今年は、バングラデシュの国民的歌手 フォリダ・パルビンさんを迎え、神秘的ですばらしい歌声を中庭いっばいに響かせ、皆の心に深い感動を与えました。

50名のスタッフとボランティアの方々が力を合わせて創り上げ、大成功に終わった音楽祭。その感想を各担当の代表者にコメントを頂きました。

出羽庄内国際村音楽祭を終えて

実行委員長 阿部 等

私はいつもボランティア活動をするときには、裏方に徹する方針を取り、委員長などという役は性に合わないと感じています。今年の出羽庄内国際村音楽祭の実行委員長を受けることとなり、その責務を果たせるか非常に心配でした。なるようにしかならないよケセラセラという体質は癖なので、直らないと親からも諦められているほどの無責任体質。こんな人間がどこまでやれるのか周囲の人の不安は如何程のことだったでしょう。当日、あの暑さの中黙々と会場作りに従事してくれた会場担当、料理作りに一日厨房にたってくれた料理班、小学校でのワークショップの組み立てをしてくれたワークショップ班、その方たちがこの音楽祭を成功に導いてくれました。私みたいな人間の言う事に手を貸してくれた実行委員会の皆さん、当日あの蒸し暑い中で作業に従事してくれたボランティアの皆さん、ほんとうにありがとうございました。

ワークショップ 齋小学校担当

漆山 永吉

朝九時と早い時間でのスタート。会場の体育館に入ると、全校生徒一三五人×二つの好奇心溢れたキラキラした目が眩しい。シャブラーニールのお姉さんの話や来日メンバーによる民族楽器のデモストレーション。そしてフォリダさんの歌と続きました。最後に五年生によるハンドベルでの返歌にはメンバーも大喜びで、齋の空に日本とバングラの友好に大きな虹がかりました。

ワークショップ 黄金小学校担当

村井 明

予め、その国の事を学習したと言っ子供達は、最初は楽器の演奏でバングラデシュの音楽家を迎えたのです。そ

の日いつになく真剣な面持ちの彼らに私は思わず胸を熱くしていました。ほんのさやかな歓迎会でしたが、その意味も知らぬに子供達は一心不乱に振舞ってくれたのでした。でもそれは紛れもない立派な国際交流になりました。



黄金小でのワークショップ

イラスト提供 / 長谷川 結

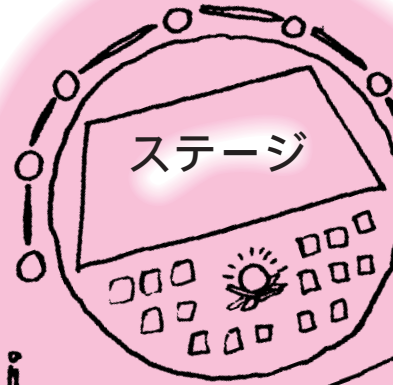


会場装飾担当

小坂 由美子

今回のコンサートでは会場装飾担当で参加させていただきました。たくさんの方々の協力もあって以上の出来になったと思う。私の一存でここにこだわらせて頂いた。幕の中に何かある様な気がしたから。説明は出来ないのだが自分では正解だったと思う。日本の感性を違うカタチで生かしてみたい。私事で申し訳ないのだが良い勉強になったと思う。楽しかったな。

舞台



会場設営担当

早坂 安雄

八時半の早いスタートで作業は始まった。たくさん難関がありつつも中野さん、ボランティア二名の方の力により、素晴らしいステージを作ることができた。この成功には装飾部隊の小坂さんと長谷川さんの力がとても大きなものになった。パングラの雰囲気をよくお客様に味わって頂くには装飾はとても大きな存在。後片付けの時、出演者にステージを指差されながら「Soop」と言われた時、今回の音楽祭は成功に終わったのだなと実感できた。蛇足ですが酒好きの私が打ち上げの時、酒を一滴も吞まずに帰ってしまったのはなぜだったのだろうか。

音響担当

米山 茂朗

及ばずながら音響担当として参加させて頂きました。今回の音楽祭は、庄内一円に暮らす若者男女、様々な人達がこの一夜の祭典の成功に向けその力を合わせたからこそ、今回の様な素晴らしい成功につながったのではないかと、今振り返ってみるとつくづく思います。そして、言葉の壁のある中、僕達にそっと「大丈夫」と暖かい微笑をくれた歌姫に心から感謝の気持ちで一杯です。



照明



食事担当

小川 るみ

パングラデシユの音楽と聞いて、私達はお客様に何か「パングラの雰囲気を感じてあげたい」と思う気がしたからです。本番当日は朝からパングラ出身のタルンさん夫婦と一緒に始めました。作りながら、宗教や習慣文化の違い等に話題は事欠きませんでした。この日、出会った人の輪がどんどん広がっていきように思いました。神と平和への祈りのフォリダさんの歌と共に、パングラの風が私の心にたくさんのもを運んで来てくれて、心にしみわたる歌声と共に、この日を忘れる事はないでしょう。

高校生ボランティア代表

鶴岡北高 坂本 美紗都

国際村のボランティアとして参加し、それまで知らなかったパングラデシユの食文化や芸術について知る事ができました。また、音楽を通して曲に込められた思いを感じ取れたと思います。そして、パングラデシユの事を知るにつれて「国境なんて関係ないのだ」と改めて学びました。私は、このような交流を通してお互いの国の文化をよく知り、もっと国際交流が盛んになればいいと思います。



料理班のメンバー。パングラデシユ出身の方を囲んで

国際理解教育にむけて

じるために国際村ができること

今、学校教育現場では「総合的な学習の時間」の本格的な導入にあたって、国際理解に対する関心が高まっています。

出羽庄内国際村では、地域の皆さんに開かれた国際交流センターとして利用していただくと同時に、学校や子どもたちにも広く活用していただくための方法を考えています。

今年に入り、国際理解の学習に国際村を利用してくださる小・中学校が増えました。私たちも手探りではありますが、学校の要望に沿えるような、またさらに発展できるような内容を提供できるように心がけています。



鶴岡市内のある小学校六年生のみなさんが、国際村をとおして「国際理解」の授業を夏休み前から進めています。その事例をみながら、国際村が一緒にできること、その進め方などを紹介します。

「国際理解教育」をとおして学びたいこと、進みたい方向を検討する。今年春、A小学校の六年担任の先生が国際村に相談にみえました。「国際協力」に焦点を絞って、最終的には子どもたち自身で何ができるかを探していきたいとのことでした。国際村には庄内一円の国際協力活動や交流活動をしている団体や個人の情報があります。導入として、庄内で国際協力活動をする皆さんの紹介をすることにしました。クラスなどである程度学びたい焦点がしぼられていると導入もスムーズにできるようです。

出前授業。六月、講師派遣の依頼を受け国際村スタッフがA小学校で出前授業をしました。国際村には一般の事務員のほか、中国、アメリカからの国際交流専門員が二名います。学校からの希望があれば、それぞれの国の話や専門員としての仕事のことなどを出前授業することもできます。先生方からの相談も受けています。講師派遣の場合は日程・時間の調整が必要になります。

アマゾン民族館も利用する。学校ではなく、国際交流センターの施設見学という意味も含めて、国際村を会場に授業する場合もあります。国際村内にあるアマゾン民族館は、異文化に直に触れることのできる貴重な資料がたくさんあります。普段は有料で見えていただいています。庄内の小・中学校が総合学習等で利用される場合は入館料免除の対象となります。また、鶴岡市の小・中学校の場合はスクールバスもご利用いただけます。それぞれ専用の申込用紙があります。



実際に活動している人からもっと具体的なお話を聞く。例えば「国際協力」といっても様々な活動がありますが、国際村では現在具体的に活動している方や以前に活動していた方々をご紹介します。元青年海外協力隊の活動報告「サーモンキャンペーン」という活動もあります。A小学校では、タイへの支援活動をしている団体のお話を聞くことになりました。学習の中で特に知りたい団体や国、活動が出てきたとき、その橋渡し役をしています。

自分たちの活動に活かす、発展させる。これまでの学習を通して、自分たちは何ができるかを具体的に考えていくことができます。A小学校ではタイへの支援に協力することにしました。物資の収集や、バザーなどを計画しています。三学期も引き続き活動していくそうです。

子どもたちが『世界の中のぼく・わたし』を感じ



サーモンキャンペーンってなに？

「サーモンキャンペーン」というのは、青年海外協力隊員として海外で活躍してきた方々が、帰国後地元の学校や施設などでそれぞれの体験をお話しするという事業です。事業名は、鮭が生れた川に戻ってくることになぞらえたものです。JICA東北支部が窓口ですが、国際村にもその申請用紙があり、申し込みのお手伝いをしています。八月には酒田の中学校の皆さんが、ボリアで活動してきた方のお話しを聞きました。やはり現地ですらに生活し、ボランティア活動をしてきた方のお話は、生徒にとっても印象深いもののようなのでした。詳しくは国際村又は山形県の国際交流協会までお問い合わせください。

「サーモンキャンペーン」というのは、青年海外協力隊員として海外で活躍してきた方々が、帰国後地元の学校や施設などでそれぞれの体験をお話しするという事業です。事業名は、鮭が生れた川に戻ってくることになぞらえたものです。JICA東北支部が窓口ですが、国際村にもその申請用紙があり、申し込みのお手伝いをしています。八月には酒田の中学校の皆さんが、ボリアで活動してきた方のお話しを聞きました。やはり現地ですらに生活し、ボランティア活動をしてきた方のお話は、生徒にとっても印象深いもののようなのでした。詳しくは国際村又は山形県の国際交流協会までお問い合わせください。

民族館入館料が免除になります

学校の総合学習などでアマゾン民族館を利用、見学する場合は、市内の小・中学校であれば入館料が免除になります。また鶴岡市内の小・中学校が国際村に来る場合はスクールバスをご利用いただけます。どちらも専用の申込用紙を使って申し込んでいただきます。用紙は国際村事務室にあります。詳しくは出羽庄内国際村までお問い合わせください。



「どんな音かな？」民族館楽器コーナー



『きみにもできる国際交流』



『世界を救う国際組織』



『世界のあいさつ』他

こんな教材使ってますか？

- 国際村にも国際理解教育に関する本や資料があります。授業などでお使いの場合は貸し出しもしています。
- 幼児、おとな
- 世界のあいさつ 福音館書店
- 国旗のずかん 偕成社
- 小学生、中学生、小学生、小学生
- きみにもできる国際交流 全二十四巻 偕成社
- 世界を救う国際組織 全五巻 偕成社
- 一般、教員用
- いま私たちにできること JICA
- 開発教育・国際理解教育ハンドブック 国際協力推進協会
- 興味のある方は是非見においでください。

- やさしい図解 地球があぶない 全八巻 偕成社
- 小学生高学年
- たみちゃんとなの人々 パート1〜3 明石書店
- 目で見える世界の動き ERIC
- 世界を救う国際組織 全五巻 偕成社

出羽庄内 国際村の なつ夏

歓迎 ようこそ国際村へ！ てんのうこうごうりょうへい か ごらいかん 天皇皇后両陛下 御来館



晴天に恵まれた、六月四日、天皇皇后両陛下が、出羽庄内国際村の視察にお出でになられました。沿道では、多くの市民がお迎えし、手旗を振る大歓声の中、両陛下は御料車からお降りになるとにこやかに手を振られました。和やかなお迎えとなりました。富塚市長が、鶴岡市の姉妹都市・友好都市コーナーの案内を山口館長がアマゾン民族館の説明を致しました。両陛下は、何れも関心と興味を示され、専門的なご質問をなさり、山口館長も感服しておりました。又、総合的学習で当館を訪れていた斎小学校の児童一人一人に優しくお声を掛けられるなど、両陛下の心温まるお心遣いには深く感銘致しました。

おなじみ ワールドクッキング ～スリランカ編～

料理を通して、異文化理解・交流ができるワールドクッキング。七月のクッキングは、おなじみスリランカ料理。スリランカの人達は、毎日毎食でも、カレーを食するとか。今回は、あつさりとした甘さと辛さが魅力の南瓜カレーと、トマトの程よい酸味のきいた豚肉カレー。どちらもなかなかの美味でした。

うまい 在住外国人のための日本料理講座 器の会

外国人の方々に「日本料理といえは？」と聞いたなら、「そば」、「うどん」などと答える方も多いのではないのでしょうか。そこで器の会では、そば打ちとてんぷら作り挑戦。大きな包丁を手に真剣勝負！と思っていれば、中国出身の方々は、麺打ちなんて朝飯前。一口並みの腕前を披露してくれました。

恒例 第8回出羽庄内国際村 ワールドバザール



ワールドバザール人気の秘密は、本格的な民族料理が食べられる事。プロによるパフォーマンスが楽しめる事。国境のない空間でいろいろなお人達と触れ合える事。六月九日(日)バザール当日、朝まで降り続いた雨もあがり、良いお天気に恵まれました。さて今年の人気コーナーは、高校生ボランティアの皆さんによる「フェイスベインティング」。ワールドカップサッカー開催と重なった事もあって、お気に入りのサッカーチームの国旗をそれぞれ顔に、ステージコーナーでは、異色の空手演武があつたりと、今年のバザールは例年以上に盛り上がりました。

後援 出羽庄内国際村サマーフェスティバル

今年、十三カ国・四十四名の外国人留学生と共に、四泊五日の暑い夏を過ごしました。日本文化の体験はもちろんの事、庄内浜での海水浴も計画していたのですが、その日は遊泳禁止。きゆうきよ羽黒山参りに変更。アクシデントが、かえって忘れられない思い出になったような気がしました。(実行委員長談)

新企画 ワールドキッズ ～南アフリカ編～

「世界のことを知ろう！」を目的とし、アマゾンやアフリカのお話を聞いた後、クイズにトライ。引き続き、南アフリカ共和国のコーラスグループ、「レインボウスターズ」の子供達と一緒に歌や踊り、演奏を楽しみながら交流を深め、これ以上争う事のない時代、世界平和の誓いを新たにしました。

あき の も よ お し 。 講 座

フ サロン

日時 10月4日(金) 午後7時
場所 きつさこ(国際村内)
国際交流員のフリリップ・ロバソンをスピーカーに、サロン復活！
テーマは『ベトナム・カンボジア研修旅行レポート』です。ぜひお出掛けください。

大 地の会チャリティーコンサート

日時 11月4日(月) 午後1時
入場は無料です。気軽に遊びに来てね。世界の被災地支援のために発足したボランティアグループ『大地の会』。同会主催のチャリティーコンサートが開催されます。演奏家達が奏でるハーモニーを、是非お楽しみください。

ハ カロウィンカーニバル

日時 10月5日(土) 午後1時
場所 国際村ホール
庄内のALLTの皆さんを中心に、本場のハロウィンカーニバルを計画中です。今年のハロウィンは国際村に遊びに来てね。

小 学生のスピーチコンテスト

日時 11月10日(日) 午後1時30分
場所 国際村ホール
子供達の英語学習の一環として『小学生のスピーチコンテスト』を開催します。英語を学ぶ仲間達の前で、自分の力を試してみませんか？

ラ フォア市中学生訪問団来鶴

日時 10月24～28日(木～月)
場所 鶴岡市周辺・国際村ホール
鶴岡市の友好都市ニューカレドニアのラフォア市から、日本語を学んでいる中学生の訪問団がやってきます。期間中は、ホームステイや市内の中学生との交流会などを予定しています。

ワ ールドキッズセネガル編

日時 11月中旬
場所 国際村ホール
アフリカセネガル出身のダウル・ユッサー・ンジャイさんを講師に迎え、サバール(太鼓)とダンスのワークショップを行います。みんなで音楽の秋を楽しもう！

外国語講座

秋の外国語講座が始まりました。
英語 キッズ英会話、初心者旅行英会話、やさしい中級かんばせーしょん喫茶店
中国語 初めての中国語、初級コース、会話教室
韓国語 入門コース、初級コース
フランス語 入門コース、初級コース
ロシア語
この秋から新しくスペイン語の講座も開講しました。

スペイン語のミルコ・サラス・ゴンザレス先生の紹介
ミルコ先生から一言
九月からスペイン語を教えることになったミルコです。私はボリビア出身で、七月より鶴岡に住んでいます。日本語にも庄内弁、大阪弁があるようにスペイン語も地域によって表現はさまざまです。世界の多くの国で話されているスペイン語を、みなさんと踊りや歌を交えながら楽しく学べたらと思っています。どうぞよろしく。
お問合せ先は出羽庄内国際村まで
☎ 0235 25 3600

出羽庄内国際村では週二回、ボランティアの皆さんによる日本語教室を開催しています。

- 日曜日コース
午後2時～4時
 - 火曜日コース
午後7時～8時30分
- 料金はどちらも無料です。
春には花見、秋には芋煮会など、季節にあった楽しい会も開いています。教室は小グループ制で、自分のレベルや勉強したい内容にあったグループで学ぶことができます。どうぞ気軽にのぞいてみてください。



どの人が習う人？教える人

日本語教室

国際交流団体紹介

~ 庄内に広がる国際交流 ~

羽黒町日中友好協会

文化交流を通して日中友好事業の発展へ寄与する

会員数：201人
 定例会：無し
 会費：2,000円
 連絡先：羽黒町日中友好協会事務局
 羽黒町役場企画商工課内
 (☎0235-62-2111)

発足のきっかけは、県の日中友好協会の事業やハルビン定期航路確立に向けた動きに伴ったものですが、羽黒町内に中国からの花嫁さんが多数嫁がれており、中国が身近になってきたという事が要因の一つであろうと思われま。

昨年までは『庄内～ハルビン定期チャーター便運航計画』に基づき日中友好羽黒町民の翼・ハルビン氷祭り鑑賞の旅を組織して訪中し、今年度は鶴岡・田川日中友好協会20周年事業である『シルクロードの旅』に参加いたしました。

町内の交流では、平成12年より中国のお正月体験として、旧正月の家庭料理を一緒に作って、料理を食べながら旧正月の行事や風習等の話に花を咲かせ、身近な国際交流を行っています。

今後も文化交流・相互理解の事業を主として、中国だけでなくより多くの方との交流に重点を置いて活動していきたいと思ひます。



昨年年度の文化交流事業から

会員数：11名
 定例会：必要に応じて
 会費：3,000円（本部）
 連絡先：事務局 佐藤 秀彰
 FAX 0234-75-3170
 DQK02144@nifty.com

日本ハンガリー友好協会山形県支部は、1983年に始まったハンガリーとの交流を継続的に発展させるために設立されました。85年に第1次訪問団を派遣以来、交流は多くの方々の支援を受け、また本部事業と併せ文化交流を中心にほぼ毎年のように様々な形で相互交流を実現しています。

活動内容としては、10年前から遊佐町が毎年3月に中学生・高校生を派遣し、私たちの交流相手であるハンガリー日本友好協会ソルノク支部が受入れ、ホームステイ、学校訪問等を企画、実施しています。

2002年正月にはハンガリーの中央部に位置するソルノク市に建設中の遊交会館が竣工、さらに遊佐町混声合唱団の公演交流が行われました。

今後も、多くの方のご支援をいただきながら、ハンガリーとの交流を発展させていきたいと考えています。



鶴岡南高校のみなさんとの交流会

ソルノク市との交流を通して両国の相互理解と親善を図る

日本ハンガリー友好協会山形県支部